

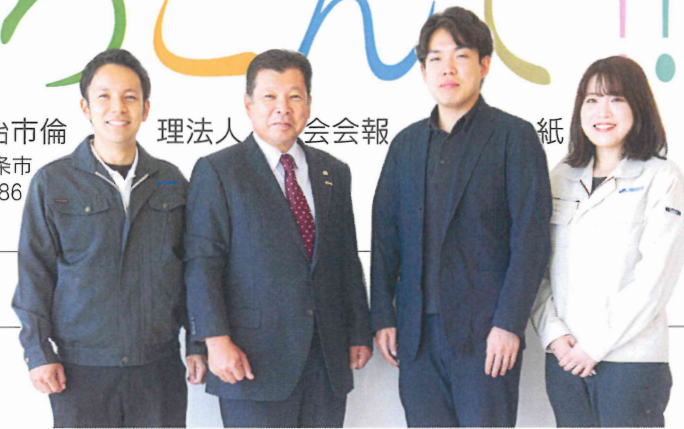


はい!よろこんで!

2021 August vol.59

今治市倫理法人会 会報 紙
愛媛県今治市倫理法人会(事務局) 〒793-0003 西条市
西ひうち 6-12 TEL 0897-56-1930 FAX 0897-56-1986

建設現場に張られる障がい者を支援するイメージシート



左から長男・昌孝、重松社長、次男・和希(かずき)、長女・侑那(ゆうな)さん

「重松建設、がんばってるな」と多少は安心に思ってもらえるんじゃないかな。

今年、営業の女性が産休と育休に入りました。産休の前にも体調が悪く、自宅でテレワーク作業をしていて、打ち合わせもズームで行っていました。コロナのおかげと言ったら変ですが、弊社のような零細企業も対面ではない仕事ができて始めて、自信にもなったし、財産にもなりました。子どもができた男性は企業提携型保育園に預けてもらって、会社がサポートしています。あわせて介護や病気になったときのサポートも行っていますし、健康診断も年2回行っています。

「自転車ツーキニスト推進事業所」の指定を受けて、ほぼ毎日自転車通勤しています。健康経営の一つです。健康な人が多いほど会社の収益率が高いというデータもあり、社員の健康に投資するとやがて返って来るというのが根本です。と言っても毎日自転車通勤しているのは、私ともう一人だけです(笑)。

このためにお店をやっていたんだな

中華居酒屋りん 河野 均 会員

10年前に今治に移住して、8年前60歳を機に中華居酒屋を始めました。「何を考えてるんだ!」と家族・親族一同大反対。やっと8年経ちました。先日、うれしいことがありました。ご夫婦が来店されて少し話をしたら「三重県からりんの中華を食べるために来ました。昨年12月に造船の仕事で1か月今治にいて、ここの中華がおいしかったので、嫁さんにも食べさせたいと来ました」と言われました。このためにお店をやっていたんだなと思いました。「よく来られましたね」と言うと、「コロナで高齢の方がお店をやめられるのが増えているので、心配になって来ました」と言われました(笑)。

季節のおやつセット 定期便を販売

株式会社母恵夢本舗 岡田弥栄 会員

コロナ禍で外出機会が減ってしまっているため、ご自宅でお菓子を楽しんでいただきたい想いから、バームクーヘン、フィナンシェなどの人気商品やうずしおパイなどの訳あり商品などを詰め合わせた、お菓子の詰め合わせを定期的にお届けする「母恵夢本舗の季節のおやつセット 定期便」の販売を始めました。毎月商品が変わる大変お得なセットで、オンラインショップ限定です。ぜひ、ご家族でお楽しみください。お申し込みはホームページから。



このセットがなんと2,300円ポッキリ!?(税込)

Member's Introduction 会員企業

倫理に出会ったのが人生の中で一番大きいですね

株式会社前川 代表取締役 三木秀和 会員

令和元年(2019)1月から株式会社前川の社長に就任しました。造船の仕事をしているんですけど、造船の仕事は波があるので他の仕事を探していたら、松山市に国が運営している事業継承支援センターがあり、「新居浜にいい会社がある」と紹介されました。お互い了解を取って秘密保持契約を結んで会いました。事業継承支援センターからは「祭り関係の仕事でハッピーや刺しゅう、ユニフォームなどの製造・販売をしていて、地元根付いている会社です。後継者がいないので引き継いでほしい」と説明されました。お互い合意に至り、M&Aという形で引き継ぎました。こういう業界は初めてで不安もゼロではなかったのですが、決算の数字がよかったのと従業員全員が残ってくれるということで決めました。しかし、家族も社員も猛反対。「なんで今さら異業種の会社を継がんといかんの?」。家族の縁は切れませんが、私はずっと戦力として造船の現場に出ているので、「社長が現場に来ないなら辞めます」と10名程辞めました。M&Aをやらなかったら、売上げは半減していたでしょう。結果は売上げも従業員数も倍になりました。

前川の従業員は7名です。主な内容はユニフォームやハッピー、旗、のれんの製造・販売、刺しゅう製品の製造・販売などです。造船の仕事にも作業着が必要なので相乗効果は出ています。新居浜といえば太鼓祭り。会社関係から自治体、個人に至るまで祭りにみなさん熱い熱い思い入れがあります。地域や会社で祭りを盛り上げようと力を入れているので、あれだけ立派な太鼓台ができるのだと感じます。

昭和45年(1970)3月3日生まれの51歳です。5歳の時に両親が離婚して、父親に引き取られました。小学校の同級生に徳永市長と現在、佐渡島で医師をされている森本真博相談役の弟さんがいて交流もありましたが、中学で道はずしてしまって、学校に行かなくなりました。原付で先輩が迎えに来たり、校内を原付で走ったり、学校も荒れていました。中3のときにバイクが欲しくなり校長先生に「バイトがしたい」と言うと「土曜日だけは出て来いよ」言われました。バイトをして400ccのCBXを買いました。ある日友達から「先輩がバイクでこけた」と電話がかかってきて、大事にしていた先輩だったので、退院後見舞いに行ったら、ヘルメットをかぶってなかったのが、顔のケガもひどく言葉も出ない状態。お母さんが「一生半身不随なんよ」と泣いていました。その時に「このままじゃいかん!環境を変えない」と思って中学卒業後、都会への憧れもあって、大阪の寿司屋で住込みで働き始めました。嫁さんは同級生で15歳で出会いました。遠距離恋愛が続いて、高校卒業後、嫁さんが大阪に来て、長男ができて大阪で家族で暮らすのは難しかったので今治に帰ってきました。

それから19歳から37歳までメッキ工場でサラリーマンをやっていました。小遣いを増やしたかったので、朝3時半に起きて新聞配達、夜は携帯電話の代理店みたいなことをやっていました。朝から晩まで休みなく働いていました。当時は



株式会社前川



松坂大輔選手のグローブの刺しゅう



誕生祝いの刺しゅう



収が1,000万円位ありました。もっと効率よく稼ぎたいと思って、造船業がよかったので、ど素人ながら一人で造船会社の下請けに飛び込みました。年収は300万円に下がりました。独立するために溶接の仕事で早く覚えようと必死で働きました。夏場、何度か倒れる位やりました。数か月で認めてもらって「三木君なら大丈夫」と1年後、独立しました。その後、若い子を雇って売上げを伸ばしていききましたね。令和元年(2019)まで溶接の仕事をやっていました。どんな船を造っていたか覚えていません(笑)。最後の頃はコンテナ船が多かったように思います。三木秀和さん

息子が31歳、30歳の2人、孫が男の子4人います。会社は7つ位(笑)。従業員は総勢で50名位。売る物は糸関係と鉄関係になりますが、売上げ的には鉄関係が多いです。火水木金とMSに参加して、前川に出社して、その後、西条・新居浜方面のお客様まわりをしています。倫理法人会入会のきっかけは、前川を継ぐ時に営業専門の会社なので、営業をしたことも人脈もなかったので、どこかの会に入って学びながら人脈をつくりたいと思いました。倫理には多種多様、多彩で温厚な経営者さんが大勢いて、その経営者さんがさらに地元の企業とつながっていて、人脈がとても巨大です。人脈が増えて、仕事が増えてありがたいことですね(笑)。倫理に出会ったのが人生の中で一番大きいですね。

昨年12月にバングラデシュ人を雇うことになりました。旦那さんが33歳、奥さんも同国人で20歳。2人とも留学生で母国の大学を卒業して来日して、日本語学校で学んで就職したんですけど、コロナの影響で仕事がなく、赤ちゃんが生まれたばかりで困っていました。アパートを世話して旦那さんを雇いました。その夫婦が非常に優秀で、旦那さんは日本語、韓国語、英語、母国語のベンガル語の4か国語を話します。奥さんも3か国語を話します。バングラデシュは日本の国土の40%ほどで人口が1億6千万人。首都ダッカの人口密度は世界一。アジア最貧国で国民一人当たりのGDPが2,000ドル、日本は40,000ドルです。そのバングラデシュに道路や橋や電気などのインフラ工事ができる建設会社をつくって豊かな国になるお手伝いがしたい。ゆくゆくは日本語学校を造って、定期的に日本に来て学んでもらって交流して、ウインウインの関係が築けたらいいなと思っています。来年、コロナが落ち着いたらバングラデシュに行って、法人を立ち上げたいと思っています。自分の代に少しでもグローバルな土台作りができたらおもしろいですね。



新居浜人の血をたぎらせる豪華絢爛な太鼓台